

平成29年5月23日

東部農林振興センター松江農業普及部安来支所

標 題 稲SGS検討会を開催

(ダイジェスト)

安来地区畜産クラスター協議会では、平成28年度に稲SGSの栽培から給与までの実証試験及び、品質の保持のための保存試験を行いました。このたび、その結果等を稲SGS畜産農家へ周知し、意見交換会を開催しました。平成28年度のととも平成29年度製造に向けた有意義な検討を行う良い機会となりました。

安来地区畜産クラスター協議会では、平成28年度、自給飼料拡大を目的として、稲SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の栽培から給与までの実証試験と保存試験を行っており、実証結果等を畜産農家へ周知するとともに利用推進等を図るため、稲SGS製造農家と畜産農家を集めた意見交換会を開催しました。

今回の実証の結果、稲SGSの給与で繁殖及び乳量・乳質には影響がなく、きちんと発酵した稲SGSの製造を行うことができました。保存試験では、実証区を7つ設け、それぞれの分析結果を比較したところ、発酵終了後詰めなおしても品質に大きな差がないこと、冬場であれば開封後26日は品質保持できることが明らかになりました。

畜産農家からはさらに稲SGSを利用していききたい、保存できるなら年間給与をしていききたいという意見が多くありました。また、稲SGS製造農家からは平成29年度に向けてさらに面積拡大を行い畜産農家への要望にできるだけ応えたいとの促進的な声が挙がりました。

当支所としても、これからの夏場の品質劣化に対する不安の声や小ロット化への要望に応え、関係機関とともに、夏場の保存試験を検討するほか、稲SGS製造農家と畜産農家と連携しながら、年間を通した給与法の検討を行います。



研修会の様子



稲SGS